

勉学の旗 (高須中学校だより)

平成30年1月24日号 高須中学校長 山口和久



今年もよろしくお祈いします

大変遅くなりましたが、本年最初の学校だよりになります。改めまして、今年もよろしくお祈いします。

冬休み中、生徒の皆さんは大きな事件や事故もなく過ごすことができ、3学期の始業式には学校にまた活気が戻ってきました。ただ、思いのほかインフルエンザが流行っていて、始業式は全校生徒を集めることなく、各教室で放送での式となりました。

始業式の放送では、年の初めに生徒の皆さんが決意したことを胸に刻んでほしいということと、いつも話をしている「チャレンジ」することの大切さを話しました。

私たちは意識していなくてもいつもいろいろなことに「チャレンジ」しています。日常の生活の中で、よりよく生きようとチャレンジし続けています。生徒の皆さんで言えば、勉強や日々の授業を頑張ろうとか、挨拶をきちんとしようとか、掃除をがんばろうとか、人に嫌なことを言わないようにしようとか、少しでも人のために頑張ってみようとか。そんな日常の小さなチャレンジは、必ず人を成長させます。そして年に何回かある大きなチャレンジの時に、その日ごろのチャレンジの積み重ねがものをいうことは、言うまでもありません。

自分の進路を切り拓く

上級学校進学や就職の為の試験がすでに始まっています。試験に「面接」を取り入れている高校等も多く、中学校でもその練習を3年生にしています。最後は校長室で、私の面接練習を受けるわけですが、どの生徒も一生懸命に自分の考えを伝えようとがんばります。この面接練習をしながら、私が一番感心するのは、生徒の皆さんが緊張の中にも素直な言葉を自然と出してくるところです。もしも、私が質問されたら、多分頭が真っ白になって言葉が出ないような質問にも、生徒の皆さんは言葉を出してきます。また、面接練習をしながら気づいたこともあります。それは、生徒の皆さんが「自分の言葉」で質問に答えた時に、気持ちが一番伝わってくるということです。面接マニュアルに書いてあるような「借りてきた言葉」では、やはり生徒の皆さんの本当の気持ちは伝わってきません。



「丁寧に礼儀正しく、その場にあった言葉で」というのは最低限必要 **【3年生面接練習の一場面】**
ですが、その上で自分の言葉で答えることはとても大切で、面接官の心を動かすこともあります。

また、面接練習が終わったあとに、3年生と雑談をしていると、「1・2年生のときに、もっと勉強しておけばよかった。」という言葉をよく聞きます。まったくその通りです。でも1・2年生の時にはそんなことに気がつかないのです。今、気がついただけでも立派です。そんな激励の言葉をかけながら、3年生を校長室から送り出します。

【お知らせ】

- インフルエンザが流行しています。すでに、1年生は一クラス学級閉鎖をしました。
手洗い・うがいの励行、教室の換気等、生徒の皆さんには指導をしていますが、ご家庭でも健康管理等よろしくお祈いします。また、発熱等の症状がありましたら、無理をせず病院を受診してください。
今後もこれ以上の流行を防ぐ為に、校医さんや教育委員会とも相談しながら、生徒の早期下校、学級閉鎖等の緊急の措置をとることがあります。その際は、文書とともに「いっせいくん」にてお知らせをします。よろしくお祈いいたします。
- 1月31日(木)に2年生が社会見学、2月1日(木)に1年生が百人一首大会を、それぞれ予定しています。インフルエンザ流行の際には、状況に応じてこれらの行事について配慮しないといけない場合があります。事前に文書でお知らせしますのでお祈いおきください。